

GEO 協議会 だより

26年3月1日

No.19

編集・発行：

～白・黒・赤を巡る旅～

美祢市ジオパーク推進協議会事務局

< 連絡先 : 0837-63-0055 >

ガイド講演会を開催しました！

1月21日(火)に、ジオガイドの育成に向けた講演会を開催しました。鹿児島市でNPO法人まちづくり地域フォーラム・かごしま探検の会の代表理事として活躍されている東川隆太郎さんを講師としてお迎えし、「**ジオガイドの楽しみ方と役割**」についてご講演いただきました。東川さんは、鹿児島県内及び九州各地での観光ボランティアガイドの育成・研修に従事するなど、自他ともに認めるまち歩きのプロで、桜島・錦江湾ジオパークにも携わっておられます。

当日は、美祢地域でガイドとして活動されている方を中心にお集まりいただき、改めて、どのような点に注意してガイドすべきか、お客様の満足度を高めるためにどのような対応を心がけるべきか等、東川さんの体験談を踏まえて説明していただきました。

また、東川さんに、講演会の前に地域内をご案内したところ、あることを発見されました。美祢地域にある石垣に、チラホラと石灰岩(大理石)が使われているということです。私たちにとっては見慣れた風景も、実はその地域のみで見られる特徴があり、他地域の方が見ると、非常に興味深いものであるということに気づかされました。石垣一つをとっても、その地域の文化を感じることができますね！



講演会の様子

なぜ、美祢市内の石垣には石灰岩が使用されているの？

それは、もうお分かりですよ！秋吉台があり、昔から採石が盛んに行われてきたからです。どの石よりも簡単に手に入れることができたのではないかと考えられます。



石垣に使われている石灰岩(大理石)

土蔵(左写真)の建築途中の様子
(昭和2年撮影/前田時博氏提供)



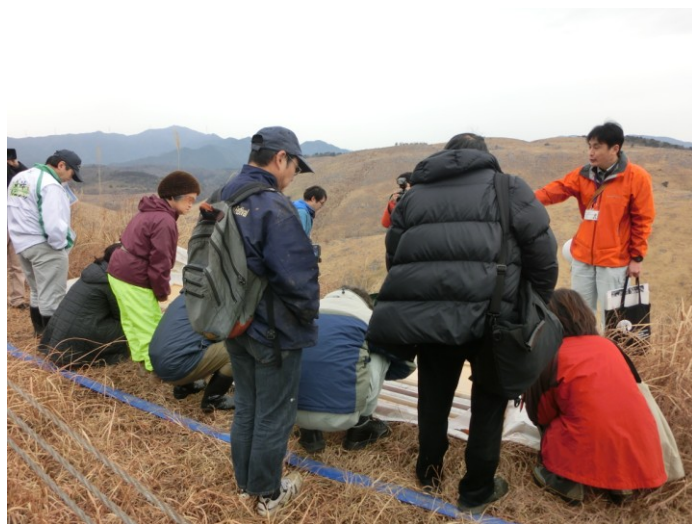
秋吉台で学術ボーリング調査が行われました！

1月15日(水)から2月3日(月)まで、秋吉台で学術ボーリング調査が行われました。この調査は、昨年12月に秋吉台科学博物館でご講演された、(独)産業技術総合研究所の中澤先生が行っている研究の一つで、地下80mまで石灰岩を連続的に採取し、その解析を行うことで、約3億年前の海洋環境の変化等を明らかにすることを目的としています。

ボーリング調査期間中の1月25日(土)には、**調査現場での観察会**を実施しました。本観察会は、最先端の科学研究と地域の自然へのより深い理解を目的として行われ、11名の方に参加していただきました。当日は、秋吉台科学博物館の藤川学芸員が、まず博物館内で今回のボーリング調査について簡単に解説し、その後現場に移動しました。現場では、藤川学芸員による、調査で得られた石灰岩試料についての解説はもちろんのこと、実際に試料表面を触ってその感触を確かめたり、作業員の方から作業の様子をお話いただくなど、普段は見ると聞く・触ることのできない貴重な体験をしていただけたのではないかと思います。



ボーリング調査の現場



観察会で藤川学芸員の解説を熱心に聞く参加者

本協議会では、今後もこのような企画を通じて、普段は少し敬遠しがちな科学的な視点から、足下に広がる大地の壮大さを地域の皆様にわかりやすくお伝えしていきたいと考えています。



調査で得られた試料(左下の黒いのはボールペンの上半分)

「ジオパーク」出前講座のご案内

「ジオパークってイマイチよくわからない…」、「ジオパークになったら、なにか良いことがあるの？」などお考えのあなた！私たちの話を一度聞いていただけませんか？？ジオパークに関する疑問に、私たちがお答えします！**地域の集まりや各種団体の会議、企業の研修など、ご希望の日にち・時間・場所に合わせてお伺いします！！**もちろん**無料**ですよ～！

ほんの少しでも興味の湧いた方は、お気軽に下記までお問い合わせください！！

美祢市ジオパーク推進協議会事務局（美祢市世界ジオパーク推進課内）

電話番号：0837-63-0055、FAX 番号：0837-62-1422、E-mail：mine-geo@city.mine.lg.jp